

2026年3月9日
ルーメン研究会

第58回ルーメン研究会 開催案内(第2報)

第58回ルーメン研究会を下記の要領で開催いたします。

日時：2026年3月24日(火) 13:00~17:00

場所：馬事畜産会館(東京都中央区新川2丁目6番16号) 2階会議室

プログラム

13:00~13:15 ルーメン研究会総会

13:20~15:20 一般口頭発表

- [1] 植物由来成分の新規ルーメンメタン抑制資材としての in vitro 評価
氏家舜介(北海道大学農学部)
- [2] カシューナッツ殻液とビタミン B12 関連物質の併用添加が in vitro ルーメン発酵に及ぼす影響
久富紫音(広島大学統合生命科学研究科)
- [3] Characterization of potential probiotic isolated from the goat rumen and its in vitro ruminal fermentation properties
Zhang Yushu (信州大学大学院総合医理工学研究科)
- [4] Development and validation of a 500 mL in vitro fermentation system for gas production, methane, and nutrient degradability
Crisostomo, J. C. A. (三重大学大学院生物資源学研究科)
- [5] ゲルマイクロドロプレットを用いた飼料付着性ルーメン細菌の分離培養化
瀧澤修平(農研機構畜産研究部門)
- [6] 黒毛和種牛ルーメン内メタン菌叢の高解像度解析
三浦広卓(北海道大学大学院農学研究院)

15:30～

小林泰男先生、小池聡先生 畜産学会表彰受賞記念セッション

小池聡先生「ウシ消化管細菌叢の分子生態学的研究 –お腹の中から生産性向上をめざす–」

～私がルーメンの世界に足を踏み入れた約30年前、ルーメン微生物研究は日本の畜産学分野の多くの研究者にとって「近くて遠い存在」だったのではないかと思います。ルーメン発酵の重要性は誰しもが疑う余地がないのに、その主体である微生物になると別の話題のような空気の中で学会発表したことをよく覚えています。そんな中で、ルーメン研究会は私にとっていつも居心地がよい雰囲気、自由闊達に議論できる場所でした～

小林泰男先生「ファミリーヒストリー：ルーメン研究の系譜」

～西川賞（日本畜産学会功労賞）の授与条件のひとつに「後進の育成」というのがある。どの研究者も模範となる先達（師匠）がいるし、またその研究者が影響を及ぼした（または影響された）同世代（同僚やライバル）がいて、そして後進（弟子）がいるので、程度は大なり小なりも、研究系譜は連綿とつながっていることになる。ここでは（個人的な範囲にとどまり甚だ恐縮であるが）半世紀の歴史を持つルーメン研究会を通して見た日本のルーメン研究の進展とそこに関わってきた研究者について紹介し、雑感を記したい～

* 参加申込・発表申込の方法、参加費は別途研究会 WEB サイトに掲載します。

* 研究会終了後、交流会開催いたします。

問い合わせ

ルーメン研究会事務局 上野 豊（信州大学）

E-mail: ytkuveno[at]shinshu-u.ac.jp * [at]を半角@に変換ください

ルーメン研究会ホームページ：<https://jsrmp.org/>